

## The Irago Conference —アジア太平洋異分野融合研究国際会議—

【エレクトロニクス先端融合研究所 (EIIRIS) 准教授】 岡田 浩 (おかだ ひろし)

2012年11月15日、16日の2日間にわたって、本学エレクトロニクス先端融合研究所(EIIRIS)が主催する国際会議The Irago Conference (The Asia-Pacific Interdisciplinary Research Conference より改称)が、愛知県田原市の伊良湖シーパーク&スパで開催されました。この国際会議は、様々な分野の専門家が、分野の垣根を越えて互いの理解を醸成する「異分野融合のプラットフォーム」を提供し、人類が直面する地球規模の問題解決に向けて議論することを目的としており、昨年引き続き2回目の開催です。2日間の会議では、招待講演を含む174件の学術論文(半数は本学以外からの投稿)の発表が行われました。海外からもフランス、インド、韓国、フィリピン、シンガポール、スリランカ、台湾、タイ、英国、アメリカからの論文発表があり、200名近い参加者が集まる本格的な国際会議となりました。

基調講演では、カリフォルニア大学のD.Morse名誉教授から生体内で無機鉱物の構造体を形成する「バイオミネラリゼーション」とその応用について、株式会社アクアビットの田中栄氏からは、未来社会の予測とビッグデータを活用する情報技術の展望について、魅力的な講演がありました。また、招待講演では、防災科学技術研究所の岡田義光理事長、東京大学のR.Geller教授から災害、防災について科学的見地からご講演をいただきました。福島県立医科大学の竹之下誠一教授から、東日本大震災後の復興への取り組みや、NANOTECH社のU.Ruktanonchai氏から2011年のタイの洪水やナノ材料を活用した害虫駆除などの紹介がありました。また、カリフォルニア大学のG.P.Li教授、シンガポール大学のD.Chua助教からは、微細加工やナノ構造を応用したセンサやマイクロチップの先端的な研究、スタンフォード大学のO.Khatib教授からロボットと人間が共生する社会の展望、本学の太平孝教授が提唱される新しい電気自動車EVER、さらに、産業技術総合研究所の坂田将氏からは新しいエネルギーとして期待されるメタンハイドレートについての最先端の研究のご講演をいただきました。



講演の様子

また、「Energy Minimization of Future Mobile System」と銘打ったスペシャルセッションが開催されました。学生など若い人たちに夢を持ってもらおうと企画されたもので、東北大学の小濱泰昭教授から、マグネシウムREDOXサイクルと効率的な輸送システムであるエアロトレインの研究や、トヨタ自動車の川本雅之氏から、持続可能な車社会の実現のためのトータルエネルギーマネジメントについての講演、自動車研究所の青木啓二氏からは、効率的な車・車通信輸送コンボイ走行システムに関する研究が紹介されました。名古屋大学の林良嗣教授からは、インフラ整備などで成熟期を迎えた日本の都市が、生活の質(QOL)を維持しつつ少子高齢化、災害対策などの難問にも対応する都市づくりについてご講演いただきました。

今回のIrago Conferenceでは、学生が企画・運営・発表を行うGraduate Student Sessionも開催されました。自分の専門外の人達を前に英語で行った発表は、今後に向けた良い経験になったのではないのでしょうか。審査の結果、本学機械工学専攻の山中大明君にBest Presentation Awardが授与されました。また、ポスターセッションでは会場のホールやロビーを一杯に活用して91件のポスター発表が行われ、会場の至る所で熱心な議論